平成29年度 特別研究推進費実績報告書

平成 30年 4月 28日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 文学部・准教授

(氏名) 山口 裕子

平成29年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	1964年東京オリンピック選手村でのムスリム対応からみる「多文化共生」の今日的課題						
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究の目的は、1964年の東京オリンピックの選手村において、外国人ムスリム（イスラーム教徒）選手の食への対応がいかなるものだったのかを、文献研究と関係者へのインタビューによって探求することである。当該オリンピックには、西・東南アジアなどの多数のムスリム人口を擁する国々の選手も含まれていた。代々木選手村のアジア地域の選手団用の富士食堂では、豚肉を除去したと見られる各国の多様なメニューが用意され、羊肉は滞日トルコ系ムスリム移民がと畜をおこない「証明書」を発行したことなどが明らかになった。近年日本の産業界では、増加するムスリム旅行者の受け入れや、海外のイスラーム市場への参入を目指して「ハラール（イスラーム上合法）」認証を取得する動向が過熱しており、認証団体の林立や監査基準の厳格化による手続きの煩雑化、滞日ムスリムとの対話の欠如など多くの課題がある。これに対し本研究で明らかになった認証制度に依存しないより緩やかなムスリムの食への対応は、今日の認証や科学的裏づけ重視の対応に対して、より柔軟でムスリム本位、かつ持続可能な対応への一つの視座を与えてくれる。人間社会において食にかかわる文化的規制が普遍的であることを鑑みれば、ハラール対応を考えることは多様な文化的背景をもつ人々が共に生きる方途の模索の一助となる。</p>						
事項	使用内訳（単位：千円）						
	合計	備品費	消耗品費	図書費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	420	0	20	150	0	70	180
支出金額	420	0	121	115	0	9	175
執行残額	0	0	-101	35	0	61	5
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等			
	なし						